

# うおづ 市議会だより



【全 体 会】



【民生文教分科会】



【産業建設分科会】



【企画総務分科会】

## 決算特別委員会の様子

# No.202

令和4年11月1日発行

令和4年

8月臨時会／9月定例会

### 主 要 内 容

- 8月臨時会・9月定例会審議結果 …… 2～3
- 決算特別委員会活動報告 …… 4
- 常任委員会審査内容 …… 5
- 代表・個別質問/12月定例会日程 …… 6～10
- 常任・特別委員会行政視察報告 …… 10～11
- 会議日誌/編集後記 …… 12

編集／議会だより編集委員会  
発行／魚津市議会

〒937-8555 魚津市釈迦堂一丁目10番1号  
☎ 0765-23-1041 e-mail gikai@city.uozu.lg.jp



うおづ市議会だよりは、「にいかわの守紙」を使用しています。  
にいかわの守紙は、新川地区の間伐材を有効活用することを目的として生み出された紙です。

## 議員派遣

友好親善都市 岡山県井原市への議員派遣  
 派遣目的 魚津市・井原市議会議員の情報交換と相互交流を深めるため  
 派遣場所 岡山県井原市  
 派遣期間 令和4年11月10日から11月11日まで  
 派遣議員 寺口 智之、岡田 龍朗

## 9月定例会審議結果一覧

### 議案

番号	件名	結果
第39号	令和4年度魚津市一般会計補正予算(第4号)	可決
第40号	令和4年度魚津市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	
第41号	令和4年度魚津市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	
第42号	令和4年度魚津市水族館事業特別会計補正予算(第1号)	
第43号	職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	
第44号	魚津市重度心身障害者等医療費助成条例の一部改正について	
第45号	令和3年度魚津市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	
第46号	令和3年度魚津市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	
第47号	令和4年度魚津市一般会計補正予算(第5号)	
第48号	魚津市教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて 山浦 春美 氏を任命することに同意	
第49号	人権擁護委員の候補者の推薦につき同意を求めることについて 谷田 葉子 氏、上田 美奈子 氏、佐竹 康子 氏を推薦することに同意	
第50号	令和4年度魚津市一般会計補正予算(第6号)	可決
第51号	令和4年度魚津市水道事業会計補正予算(第1号)	
第52号	令和4年度魚津市下水道会計補正予算(第1号)	
第53号	エネルギー・食料品価格等の物価高騰に伴う水道料金等の臨時特例に関する条例の制定について	

### 報告

番号	件名	結果
第4号	令和3年度決算に係る健全化判断比率報告書について	受理
第5号	令和3年度決算に係る資金不足比率報告書について	
第6号	一般財団法人魚津市施設管理公社の事業の計画及び決算に関する書類の提出について	
第7号	専決処分の報告について (事故による損害賠償の額の決定及びその和解の専決報告)	

### 認定

番号	件名	結果
第1号	令和3年度魚津市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定
第2号	令和3年度魚津市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	
第3号	令和3年度魚津市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	
第4号	令和3年度魚津市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	
第5号	令和3年度魚津市水族館事業特別会計歳入歳出決算の認定について	
第6号	令和3年度魚津市水道事業会計歳入歳出決算の認定について	
第7号	令和3年度魚津市下水道事業会計歳入歳出決算の認定について	

### 陳情

番号	件名	結果
第1号	魚津市仏田地内の市道の改良に関する陳情について	不採択

## 8月臨時会

8月臨時会は、8月26日に開かれ、工事の請負契約の締結について審議しました。

### 議案

番号	件名	結果
第38号	(仮称)魚津市本江地域交流センター建設事業建築主体工事の請負契約の締結について	可決

## 9月定例会

9月定例会は、9月2日から10月5日までの34日間の日程で開会し、令和4年度一般会計・特別会計補正予算や条例の改正などについて審議しました。  
 また、令和3年度魚津市一般会計・特別会計・水道事業会計・下水道事業会計決算について認定しました。

## 可決した主な議案

### 補正予算

(単位：千円)

議案名と主な内容	既定額	補正額	合計
<b>【一般会計】補正予算(第4号)</b>	18,885,582	517,389	19,402,971
<b>コロナ対策 計 91,364千円</b>			
・テレワーク・ワーケーション施設整備事業		6,000	
・新型コロナウイルス感染症イベント等対策(抗原検査キット)		2,000	
・子どもインフルエンザ予防接種助成事業		9,233	
・Mira Payポイント還元事業		33,431	
・魚津の宿泊割引事業(魚旅キャンペーン)		40,700	
<b>物価等高騰対策 計 77,570千円</b>			
・社会福祉施設に対する物価等高騰対策		27,310	
・児童福祉施設に対する物価等高騰対策		5,220	
・病院に対する物価等高騰対策		18,102	
・公衆浴場燃料価格高騰対策		766	
・漁業燃料価格高騰対策		9,800	
・公共交通等燃料価格高騰対策		8,366	
・給食費に対する物価等高騰対策		8,006	
<b>その他事業 計 348,455千円</b>			
・財政調整基金積立		200,000	
・マイナンバーカード普及促進事業		17,000	
・野菜集出荷場再編整備事業		1,000	
・みらパーク賑わい創出事業		500	
・ふるさと教育推進事業		5,190	
・プログラミング教育推進事業		400	
・指定文化財・伝統芸能保存継承事業		5,700	
・子ども向け運動施設整備事業		3,500	
ほか17事業		115,165	
<b>補正予算(第5号)</b>	19,402,971	159,171	19,562,142
・新型コロナウイルスワクチン接種事業		159,171	
<b>補正予算(第6号)</b>	19,562,142	362,472	19,924,614
・低所得世帯への電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業		196,162	
・上水道基本料金等の減免による市民及び市内事業者支援事業		84,460	
・省エネ家電等買換え促進事業		3,000	
・大学生等生活応援事業		21,350	
・運輸業燃料価格高騰対策支援事業		7,500	
・UO!トク!商品券発行事業		50,000	
<b>【国民健康保険事業特別会計】補正予算(第1号)</b>	3,801,420	4,367	3,805,787
<b>【介護保険事業特別会計】補正予算(第1号)</b>	5,221,171	187,003	5,408,174
<b>【水族館事業特別会計】補正予算(第1号)</b>	225,780	7,016	232,796
<b>【水道事業会計】補正予算(第1号)</b>	1,247,882	700	1,248,582
<b>【下水道事業会計】補正予算(第1号)</b>	3,719,679	0	※財源の変更のみ



## 決算特別委員会活動報告

決算特別委員会は、9月2日から7日間にわたり開催し、第5次魚津市総合計画に掲げる35施策について、課題や事業の進捗状況などの質疑を行い、限られた財源が効果的かつ効率的に活用されているかを主眼において、審査を行った。

### 講 評

令和3年度の決算状況は、市税収入等の伸び及び国からの新型コロナウイルス対策交付金等により実質収支の黒字額が前年度より増加した。その結果、財政指標が一部を除き改善され、財政健全化計画の目標を令和6年度末から2年前倒しで達成する見込みとなったが、計画の前倒しが出来た経過を検証され、引き続き、より一層の行財政改革に努めるとともに、新たな財政計画の策定を検討されたい。

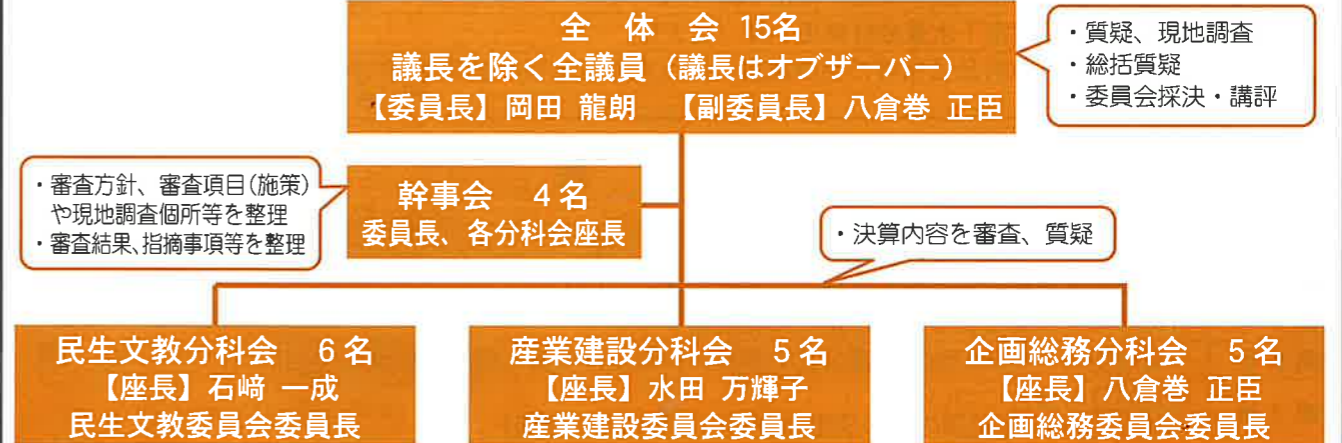
歳入においては、市税の収納率が前年度と対比して向上したことや、ふるさと寄附の取り扱いWEBサイトや、返礼品の種類を増やしたことにより、寄附額増の成果が見られた。今後も多様な財源の確保に努められたい。

しかしながら、今後、新たな室内温水プールや新市庁舎の整備をはじめ、公共施設の再編整備、老朽化に伴う修繕等の歳出増が見込まれる。また、人口減、少子高齢社会に対応するため、子育て、移住、定住をはじめとする人口対策の取り組みは、喫緊の課題である。さらに、災害等に対する安心安全なまちづくりはもとより、脱炭素化やSDGsに関する取り組みなども求められており、行政に対する住民の期待、要望は益々高まっている。

本市における新型コロナウイルスのワクチン接種は、大変スムーズに行われたが、業務に当たった職員の労力は、多大なものと思われる。行財政改革を進める上で、適正な業務の割り振りや人員配置は重要である。また、これまで行われてきた事務事業を漫然と踏襲して行うのではなく、その効果を分析、検証した根拠に基づいた施策に取り組みたい。さらに、DXを推進し、本市におけるスマートシティを構築することで、市民サービスの向上と行政の効率化の両立に努められたい。

最後に、一層効果的、効率的な市政運営に努められることで、市民参画・協働による、第5次魚津市総合計画に掲げる「ふるさと魚津」を実現されることを期待するものである。

### 審 査 体 制



### 現 地 調 査

○魚津埋没林博物館テーマ館  
外壁改修工事



前回の全塗装改修から20年以上経過し、塗装の剥離、コンクリートの浮きや亀裂等が生じ、特定建築物定期調査（県新川土木センター）により改善を要する指摘を受けたこと等により、外壁の改修を実施した。

○旧村木公民館解体工事



旧村木公民館の敷地は借地であったことから、地権者に用地を返却するため、建物を解体した。

○新金屋公園遊具更新工事



公園施設の長寿命化対策・子育て支援に関する施策の充実を図るため、老朽化した単体遊具を複合遊具に更新する工事を実施した。

### 民生文教委員会

●9月15日  
議案第39号、42号、44号  
及び47号の審査付託議案  
の審査

#### （主な質疑内容）

【魚津市一般会計  
補正予算について】  
◇子どもインフルエンザ  
予防接種補助事業につい

て  
Q 接種率の見込を小学  
生7割、中学生6割とし  
ているが、100%ではない  
のか。自己負担額がある  
のか。

A 昨年度の実績がそれ  
くらいである。接種はあ  
くまで希望者のみである。  
上限3千円の助成で、大  
体3千円以内で収まって  
いる。

Q コロナワクチンとイ  
ンフルエンザワクチンの  
同時接種はできるか。  
A できる。問題ない。  
◇物価高騰対策支援事業  
について

Q 私立認定こども園の  
分だけ計上しているのは  
なぜか。市立保育園の分

は計上しないのか。  
A 市立の保育園分は現  
計予算内で高騰分も賄え  
るといふことで、今回私  
立の分だけ補正としてあ  
げた。



【魚津市水族館事業特別  
会計補正予算について】  
Q たくさんの機器設備  
があるが、計画的に更新  
時期の見通しをたててい  
るか。

A 機器設備の更新は計  
画的に実施している。  
【その他】  
◇公立保育園の規模適正  
化について

Q 保育園の閉園問題に  
ついては、閉園後の活用  
用案の提示なども含めた  
丁寧な対応をしてほしい。

A 保育園舎だけでなく、  
地区全体の活性化策を考  
えながら丁寧に進めてい  
きたい。

### 産業建設委員会

●9月15日  
議案第39号の審査付託議  
案及び陳情第1号の審査

#### （主な質疑内容）

【魚津市一般会計  
補正予算について】  
◇漁業燃料価格高騰対策  
支援事業について

Q 支援額の算出方法は、  
A 県のセーフティネッ  
ト構築事業で、高騰分を  
県が2分の1補助し、4  
分の1を市が補助する。  
Q 農家に対する支援は、  
A 農家に対しては、国  
で高騰対策を打ち出して  
いる。国の仕組みを見て  
から、市の支援を検討し  
たい。

【その他】  
◇企業誘致について  
Q 新たな施策の創設の  
考えは、  
A 企業誘致は必要であ  
り、関心のある企業への  
助成制度の紹介や、関係  
方面からの情報収集等に  
より、誘致をしていきた  
い。県にも助成金の負担

割合の変更をお願いして  
いきたい。  
Q 地元企業の実態調査  
をしているのか。  
A 商工会議所と連携し  
企業訪問を行っている。  
関係機関と支援について  
意見交換も行い、予算に  
反映できるものはしてい  
る。  
【市道改良の陳情につ  
いて】  
●本格的な道路整備は、  
早急に市営住宅跡地（旧  
小川田市営住宅）の開発  
計画を立ててから行うべ  
きである。それまでは、  
暫定的な整備とすべきで  
ある。  
【現地調査】  
市道改良（陳情第1号）



魚津市仏田地内

### 企画総務委員会

●9月16日  
議案第39号及び43号の審  
査付託議案の審査

#### （主な質疑内容）

【魚津市一般会計  
補正予算について】  
◇テレワーク・ワークエ  
ション施設整備事業につ  
いて

Q 市の直営か、委託か。  
A ミラージュハウスの  
指定管理の一部として  
て、施設管理公社に利用  
受付をしていただく。市  
も、利用の呼びかけ等い  
ろんな方面で働きかけ、  
双方でしっかり管理運営  
していきたい。

Q 今後どう展開してい  
くのか。賑わいづくりの  
観点で駅前でもよかった  
のではないか。  
A スポットを増やして  
いきたい。関係課と協議  
検討していきたい。

◇財政調整基金積立につ  
いて  
Q 例年は年度末に積み  
立てているが、今年は早々  
に積み立てられた。決算  
が終わったこの時点です  
ぐに積み立てるのがあ  
るべき姿だと思つがどうか。  
A 積立の時期につ  
いては、災害等に備えて状  
況を見ている。今後は、  
市庁舎建設を目的とした  
基金にも積み立てていく  
計画であり、しっかりと  
運用していきたい。  
【その他】  
◇タワーパートナーズセ  
ミコンダクター棟  
(TPSCO)について  
Q インテル傘下への  
報道があり今年末頃には  
動向が分かってくると思  
うが、設備投資に対する  
市の補助金を考えると財  
政的に厳しい状況になる  
のでは。  
A 国の半導体戦略の中  
で魚津に設備投資があれ  
ば素晴らしいが、地元  
に巨額の負担が伴うもの  
であれば厳しい。県・国の  
補助制度等の情報収集に  
努めたい。





清流小学校隣接地の利用計画について



自民党議員会 一問一答
関口 雅治 議員

第26回参議院選挙について
投票率の結果について

魚津市全体では49.02%で、前回の参議院選挙と比較すると4.3%増加となったものの、県内15市町村の中では14番目であった。投票率が低いという事実を大変重く受け止めており、より効果的な啓発方法等の検討が必要と認識している。



友好親善都市、協定締結都市について

今後、投票率を上げる為の考えは。
これまで商業施設への臨時期日前投票所の設置、インターネットを活用した若年層への啓発、投票所入場券裏面への期日前投票用宣誓書の印刷など、有権者の利便性の

向上を図ってきた。今後は子育て世代へのアプローチの強化をはじめ、有権者の関心を高めること、誰もが投票しやすい環境の整備を進めたい。

や文化などを通して市民がタイ、チェンマイへの親しみを感じられるような事業を実施し、両国の友好的な関係を継続できるように努めていきたい。
天神山周辺施設について
今後の歴史民俗博物館（歴史民俗資料館、吉田記念郷土館、旧沢崎家住宅）の今後の運営管理について伺う。
公共施設再編方針では令和11年度までに小学校跡地等へ機能集約することになっている。現在具体的な方向性は見えていないが、今後協議していきたい。

清流小学校隣接地について

清流小学校の隣接地購入後の利用計画などを伺う。
今年度、建築物の取壊しが終わり、3714㎡の敷地が確保されている。令和5年度に整地し、スクールバスの乗降場として利用することにより、児童の通学の安全性を確保していきたい。

内水による被害が増えている内水ハザードマップを作成するべき



自民「しおかぜ」一問一答
石崎 一成 議員

水害の予防について
市内街区の雨排水路の流量・流方向の把握状況は。

魚津市都市マスタープラン上の高次都市機能コアゾーンとなっているエリアは平成11年度に雨水対策基礎調査を実施して把握しているが、それ以外は把握していない。調査からも年数が経過し、住宅開発の状況や近年の集中豪雨などによる雨水の流出量の変化も踏まえ、エリアを拡大した再調査を検討していく。

内水ハザードマップを作成するべきでは。
市民の皆さまに浸水リスクや浸水時の行動確認、日頃からの備えのための重要な情報提供の一環として、地域

伝統文化の継承について
コロナ禍により地域の伝統芸能の安定的な開催と保存継承が危ぶまれている。古くから伝わる本市の伝統芸能を絶やさず、次世代へ継承していく必要がある。

つであり、令和5年度より作成に取り組む予定である。河川の氾濫を想定した外水が要因となる洪水ハザードマップと違い、身近な水路から溢れた水が、どのくらいの範囲にどのくらいの深さで浸水するかの情報をまとめた地図となることから、平時からの防災意識向上に活用できると考える。

把握の状況は。
平成27年度に小中学生向け副読本『魚津の歴史読本シリーズ(6)魚津市の民俗芸能』刊行時の調査と令和3年度の実地調査、いずれも地区公民館からの回答によると、休止中も含めて60件の伝統芸能がある。副読本では24件の紹介をしており、市内の全小中学校や図書館、教育センター等に配置されている。
伝統芸能に関わる地域や人同士が意見交換と連携をする場を設けては。
これまでも祭りの実施団体から相談は受けている。今後も、担い手の輪を広げて人員の育成や確保をすること、各地域の実施団体の相互理解と連携を図ること、地域全体で伝統芸能を支えていくこと等の取り組みが必要であると考えられることから、意見交換の機会や連携を模索する場の設定を検討する。

国と県への令和五年度予算編成に際しての新規、継続要望の進捗状況の詳細を伺う



自由民主党議員会「一問一答」
久保田 満宏 議員

新川こども施設の早期着工と整備について

令和三・四・五年度と継続要望しているが進捗状況と今後の見通しは。

県において新川文化ホール敷地内に遊びを通じた子どもの非認知能力の形成や基礎的運動能力等の開発・向上につながる施設の機能や規模、配置等に関する基本計画書が策定され、今年度には民間活力導入可能性調査が実施されている。荒天時でも利用できる屋内施設、新川文化ホールが持つ音楽や芸術特性と連携した施設、同伴者も満足できる施設の早期実現に向けて努力していく。

水道基幹管路の老朽管更新と耐震化の推進・整備と財政支援の拡充について

布設後四十年以上経過し、耐用年数を超え住民生活に多大な影響を及ぼすことを懸念する。

国の補助事業を活用しており今まで更新と耐震化に要する予算は要望どおり配分され進捗状況は良好である。本市の浄水施設の耐震化率は0パーセントで、県全体の平均値の52.7パーセントには大きく及ばない。横枕浄水場については、令和十二年度までに耐震化率を100パーセントにする。

北陸新幹線黒部宇奈月温泉駅へのアクセス道路の整備促進について

継続要望してきた成果と現在の進捗状況および今後の取り組み方を伺う。

アクセス道路として湾岸道路、国道8号バイパス、宇奈月大沢野線バスがあり、以前から重点事業として県に要望してきた。宇奈月大沢野線バイパスは、平成13年度から着手し、令和3年10月末までに第一期工事区間の青柳から石垣新までの1,720mが開通した。現在、第二期工事区間の主要地方道島尻魚津インター線から一般県道大海寺新本町線までの600mについて事業を実施している。令和3年度末の進捗率は約75パーセントとなっている。今後は早期完成に向けて引き続き重点事業として要望を行っていく。

（その他の質問事項）
・小学校専科教員の加配
・東京圏一極集中化是正

（その他の質問事項）
・小学校専科教員の加配
・東京圏一極集中化是正

（その他の質問事項）
・小学校専科教員の加配
・東京圏一極集中化是正

（その他の質問事項）
・小学校専科教員の加配
・東京圏一極集中化是正

（その他の質問事項）
・小学校専科教員の加配
・東京圏一極集中化是正

（その他の質問事項）
・小学校専科教員の加配
・東京圏一極集中化是正

（その他の質問事項）
・小学校専科教員の加配
・東京圏一極集中化是正



### 定員管理計画について 豪雨災害について



立憲民主党議員会 飛世悦雄 議員

#### 定員管理計画について

Q 職員の削減が継続されているが、今後の対応を問う。



A 第6次定員管理計画では、5年間で23名の削減を見込んでいる。職員数が減少する一方で、行政サービスを下させないよう、組織体制の見直し、業務改善に取り組み、職員の病気休業や育児休業に対応するために、必要に応じて会計年度任用職員を採用している。

#### 個別避難計画について

Q コロナ感染症対策について

A 約1,000名の方を対象に作成を進めている。市内各地区で役員を対象に説明会を開催して、作成を周知、依頼した。計画作成に同意された方293名のうち約67%にあたる197件が作成済みである。

A 避難所における新型コロナウイルス感染症対策については、「避難者同士の接触機会の低減」、「保健師の巡回による体

（その他の質問事項）  
令和3年度決算について  
市庁舎整備について

### 国内でも恵まれた環境で、魚津市の水力発電導入を期待する



自民党議員会 金川敏子 議員

#### 国・県予算に対する要望書について

Q ゼロカーボンシティの実現に向けた市内水力発電導入について

A 今年度は適地2か所で河川の流量調査を実施し、採算性の評価を行っている。調査を継続しながら、水力発電設備の導入の可否等について、関係団体等との意見交換を進めていく予定である。

#### 新エネルギーの調査研究について

A 令和3年度の調査事業において「太陽光」と「水力」のポテンシャルが高いという結果が出ており、今年度は採算性等の調査を改めて実施している。

#### 子ども医療費助成について

A 令和4年4月から、県の助成の対象が入院・通院ともに未就学児までに拡大された。しかし小学生から本市が助成対象としている高校生までの医療費は市の負担となっている。少子化対策のため、更なる県助成制度の拡充を要望している。



（その他の質問事項）  
インボイス制度について  
市民バスの利用促進策について  
富山市の道路陥没について

### 人口減少に歯止めがかかるように



自由民主党議員会 水田万輝子 議員

#### 人口減少への対策について

Q 働くことへの将来の不安を感じている若者への市の取組みを問う。

A 企業へのワークライフバランスや働きやすい環境づくりの周知・PRや、就労していない若者へは自分に合った就労に繋げていただくよう、就活イベントやセミナー等の情報発信に努めている。

#### 不妊治療について

Q 助成対象の条件は。

A 次の4つすべてに該当する夫婦、また市税等を滞納していないことを要件としている。

①令和4年4月1日以降に不妊治療を開始した方  
②法律上の婚姻をしている、又は事実婚状態であること

#### あること

③申請日において夫婦双方またはいずれかが市内に住所を有し居住している方  
④助成を受けようとする治療の開始時の妻の年齢が43歳未満の夫婦

#### 少子化による医療・福祉現場の担い手不足への対応策を問う。

A 市では、資格取得に対する補助制度等を設けている。また県と連携して人材確保の取組みを進めていきたい。

（その他の質問事項）  
住みよさランキングについて

## 個別質問

個別質問とは、議員が市の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針等について所信を聞き、報告や説明を求め疑問点を質すものです。

### 魚津市の顔とも言われる飲食店への助成を充実・条件緩和する考えはないか



雄心会 松倉勇 議員

#### 魚津駅前飲食店街の店舗減少対策について

Q 令和3年度と本年度4～8月の創業者支援事業助成金の改装助成金の申請は何件あったのか。

A 令和3年度に3件、令和4年は現時点で4件となっている。コロナ禍前の令和元年度は6件あった。

#### 改装助成金では四十歳未満としている意図は？

A 四十歳未満の方を対象に助成率の引き上げや上限額の増額を行っている。経済基盤が脆弱である、次代を担う若者に積極的に支援を行うことにより創業しやすい環境を整えたい。

産業建設委員会行政視察にての学びについて



（その他の質問事項）  
地域振興とまちづくり特別委員会行政視察まちづくり武生株式会社からの学びについて

### 「ゼロカーボンシティ宣言」の取組状況と課題を問う



日本共産党 岡田龍朗 議員

#### 魚津市の環境施策について

Q 地球温暖化対策推進計画について取組状況を問う。

A 令和3年度に市の実行計画を示した「事務事業編」を策定し、今年度、市全体の脱炭素に関する目標や計画を定めた「区域施策編」を策定する。ゼロカーボン施策に関する市内関係団体等と協議し、具体性、実行性のある計画を策定していきたい。

#### 魚津市自らの脱炭素化に向けた「目標と計画」についての考えは。

A 市役所自らの脱炭素化に向けた目標と計画は重要であると考えている。現在、地球温暖化防止魚津市役所実行計画では、

### 水産業の継続のために、資源管理や養殖漁業を推進し、もうかる漁業体系を確立して担い手の確保を進めよ



自民「しおかぜ」 寺口智之 議員

#### 水産業の課題について

Q 水産業の将来のために必要なことは。

A 水産資源の適切な管理と成長産業化の両立を図り、漁業者の所得向上や担い手不足解消への取組みを進める。

#### 第3次観光振興計画について

Q 魚津市版観光DMO設立に向けて必要な取組みは。

A 市民が主体となって観光まちづくりを進めることが必要であり、短期的には観光関連事業者や地域住民の意識醸成を図ること、そして施策を推進していく中心的役割を担う人材を発掘し、育成を進める。2、3年かけて法人格を取得し、DMOの登録を進める。

#### 災害時の避難対応は。

A 個別避難計画がいざというときに有効に活用されるためには、地区自主防災組織、地区社協等の連携・協力が重要と考えている。連携体制の構築を研究したい。



どの公共施設をいつ整備するのか、公共施設ロードマップを示せ



自民「しおかぜ」 一問一答  
はまだ やすとも  
浜田 泰友 議員

財政健全化について

Q 新たな財政計画は、令和元年に策定した財政健全化計画の目標を2年前倒しで達成する見込みとなった。令和5年度からの新たな計画を早急に策定する。  
A 市庁舎の建替えなど多額の費用が必要となるため、収支見通しの前提条件として公共施設の整備スケジュールを検討する。

Q 民間の賃貸住宅が多数供給され、現状では空き室も多くなっている。  
A 270戸のうち51室が空き室となっている。現在のところ建替や新設は考えていないが、将来を見据え更なる再編を検討する必要がある。

市営住宅について

Q 移住・定住対策について  
A 移住体験施設については、片貝来られハウスにて山村の暮らしを体験してもらっている。移住希望者の多様なニーズに対応するため、市街地の市営住宅を利用したお試し移住施設の設置に向けて協議を進めたい。

空き家対策について

Q 手放したい空き家を登録する0円空き家バンク制度導入の考えは。  
A 空き家の対策は重要であり、他自治体の事例を参考に取組みを検討したい。

防火建築帯を再生しよう 国交省に聞きました 条例制定で特定空き家に対応可能とのことですが？



越川 隆文 議員  
こしかわ たかふみ  
越川 隆文 議員

中央通り防火建築帯について

Q 昭和37年廃止の民法旧208条の規定で建設された（昭和34年）中央通り防火建築帯は、条例制定で特定空き家に指定し行政執行で再生すべきだ。  
A 魚津市空家等対策審議会において、慎重かつ丁寧に議論を進めていくとともに、所有者に対し危険な状態等を除去するよう指導していきたい。

まちづくり株式会社

Q まちづくり株式会社を設立して空き家の利活用につなげるべきだ。  
A 空き家情報バンクの登録業務には相当の時間を要しており、仮に不動産の専門家を配置したまちづくり会社であれば、よりスピード感を持って

効果的に行うことが可能と考える。設置の可能性について検討したい。

Q 住みよさと人口増減の相関関係について  
A 魚津市は住みよさ全国12位となったが、なぜ人口減少は予測以上に拡大しているのか。  
A 転出超過により社会動向が著しく減少している。高評価に繋がっている利便度等の維持向上と、そうでない部分は転出者アンケートを分析して改善を図っていく。

（その他の質問事項）  
・市として農協にどのようなことを期待しているか。  
・不法投棄について

議会日程

令和4年12月定例会

Table with 4 columns: Day, Session, Time, Content. Includes dates like 20th, 16th, 15th, 14th, 13th, 2nd and sessions like 'General Assembly', 'Industry Construction Committee', 'Special Committee on Administration and Supervision'.

常任委員会・特別委員会 行政視察報告

産業建設委員会

【日程】 7月12日～14日  
【視察先】 北海道東川町  
【視察事項】 ひがしかわ株主制度について  
【概要】 東川町は移住人口も多いが、ふるさと納税の東川町版である株主制度で、より多くの交流人口による効果を生みだしており、当初より50倍の効果を生んでいる。本市に於いても大きな伸びを見せているふるさと納税だが、東川町は、当地に

力を入れていく。そのためには、新規移住希望者に魅力的に映る良質な住宅を形成していくこと、既存住宅の流通の円滑化を促すことが重要と考え、住宅の流通できるものは流通させて、そうでないものは、解体して流通させることを町が支援している。事業の3本柱として、①リフォーム支援、②建て替え支援、③お祝い金贈呈を実施している。中古住宅の購入支援についてもメニューが豊富で、省エネ化から耐震診断など、住宅を空き家にならない対策を取っており、様々な取組が行われている。当市も対策強化をしなければ、人口減少は抑えられないと思う。



【概要】 国補助事業「空き地対策の推進に向けた先進事例構築推進調査「西神楽」空き地活用プロジェクト」をはじめとする、土地対策への取り組みで、NPO法人が、空き地の所有者等の状況把握、所有者への土地利用の意向確認を行い、旭川市及び民間事業者と連携を取り活用方法の検討（ワークショップの開催）や、売買等の土地を流通させるための方策を検討している。所有者不明土地対策において、国交省とモデル法人を目指しているNPO法人側において話し合いが継続され、両者の関係性が築かれており、課題解決に向け、継続的に取り組む重要性を感じた。

マルシェを整備。また、商業・医療・福祉ゾーンを兼ね備え、歩いて暮らせる住空間を創出するネーブルタウン構想（市街地再開発事業）により、周辺の路線価が6年連続上昇する劇的な効果も上げた。事業の中心人物は、まちのことを思って本気で動かないと、まちづくりがうまくいかないと言っている。自らが体を張って動き、周囲を巻き込みながら国を説得する形で事業を進めてきた。初期段階においては2億円の債務を個人保証で引き受けるなど、自らリスクをとって事業を推進したということであるが、これも本気度を示し「責任」をもってまちづくりに取り組む姿勢が表れた形といえよう。官民連携事業ではあるが、官やコンサルに頼らない姿勢が、功を奏していると感じた。



【日程】 7月27日～28日  
【視察先】 福井県敦賀市  
【視察事項】 新幹線駅敦賀駅周辺整備事業について  
【概要】 新幹線開業を視野に入れ、令和元年駅前立体駐車場供用開始。駅西地区土地活用事業を進めてきている。官民連携で区画整理したうえで、民間に活用してもらうとのこと。交流施設は9月1日オープン。  
【所感】 新幹線駅と一体化したまちづくりを行っている。駅舎を中心としたまちづくりのデザインとして参考になる。民間との官民連携事業が進んでおり、ホテルや民間施設の誘致など、全国的に利活用を公募している点も参考にするべきである。



【視察先】 福井県越前市  
まちづくり武生 榎  
【視察事項】 まちづくり武生 榎の経緯と事業内容について  
【概要】 この会社が手掛けた空き店舗の改装補助事業でオープンした「こいさん食堂」でお話を聞いた。行政主導であり、仕事も行政からのものが9割である。  
【所感】 メリットは小回りが利くこと。持続的な経営背景には市の地域おこし協力隊の実績、市や商工会議所のサポートの存在があるとのこと。魚津市で実践していくために不可欠である。やる気のある人材での民間活用が行政の隙間を埋める最も良い施策だと感じた。



【視察先】 福井県福井市  
【視察事項】 福井県福井市  
① ちえん鉄道福井鉄道相互乗り入れについて  
② まちづくり福井 榎について  
【概要】 ① 相互乗り入れの効果として、越前武生へ鶯塚針原まで80分かかっていたが、20分短縮した。福井鉄道では毎時間6本が8本に、えちぜん鉄道では4本が6本になった。利用者も2.9倍になった。  
② 平成12年に設立、行政民間双方の出資で設立。社長と部長は商工会議所から。常勤は9名。行政だとタイムリーな対応ができない分、まちづくり会社が即応できるメリットがある。  
【所感】 ① 運行ダイヤの見直しによる本数増加、LRV（超低床車両）の導入、電停の移設など細部に及ぶ素晴らしい工夫がされている。国県の施策を十分にかつ有効に活用されている点など参考にするべきである。  
② 収入の大きなウエイトを占める指定管理業務を主体として事業を構築することがベストである。メリットである即効力は大変魅力であり、魚津でも設立を検討すべきだろう。



## 市議会を傍聴しませんか

本会議と委員会は、どなたでも傍聴できます。  
市民の生活に関わる市の条例や予算などがどのように審議・決定されているのかご覧になりませんか？

市役所4階の傍聴受付で、住所、氏名等をご記入の上、  
入場してください。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、傍聴の自粛をお願いする場合があります。事前に魚津市ホームページをご確認ください。

## 議会中継を見よう

生中継 ・インターネットで見る

魚津市議会中継

検索



・NICE TVで見る 092CH

再放送 ・NICE TVで見る 092CH

録画配信

魚津市議会録画配信

検索



## 会議録の検索をしよう

本会議の会議録をご覧いただけます。

魚津市議会会議録

検索



## 行政視察で来市された議会

- 【宮城県議会、登米市議会】（7月11日）  
・公民館・コミュニティセンターの有料化について
- 【黒部市議会 デジタル化推進特別委員会】（8月3日）  
・LINE事業について
- 【北見市議会 産業経済常任委員会】（10月19日）  
・つくるUOZUプロジェクト（新分野産業育成事業）について

### 【議会だより編集委員会】

委員長 越川 隆文  
委員 林 久嗣  
副委員長 石崎 一成  
委員 八倉 卷正臣  
水田 万輝子  
飛世 悦雄



11月は旧暦では霜月と呼ばれ、秋と冬の境目の季節です。議会も決算特別委員会が行われ、当局に対して事業の執行状況をチェックし、指摘事項等を提出しました。年末を間近にして一年を振り返り、感動したこと、やり残したこと、人はみな、それぞれ百人百様ですね。台所のつぶやき、路地裏のささやき、市民のみなさまの声をお待ちしております。  
(林 久嗣)

## 会 議 目 誌

- 7月 26日 各派代表者会議  
27日～28日 地域振興とまちづくり(特)行政視察
- 8月 8日 議員協議会  
地域振興とまちづくり(特)  
19日 議会運営委員会  
26日 議会運営委員会  
臨時会  
全員協議会  
企画総務委員会  
31日 各派代表者会議
- 9月 2日 議会運営委員会  
本会議(提案理由説明)  
決算(特)全体会  
全員協議会  
決算(特)分科会  
決算(特)幹事会  
13日 議会運営委員会  
本会議(代表・個別質問)  
14日 本会議(個別質問)  
全員協議会  
各派代表者会議  
15日 民生文教委員会  
産業建設委員会  
16日 企画総務委員会  
議会運営委員会  
地域振興とまちづくり  
21日 本会議(討論・採決)  
議会だより編集委員会  
決算(特)全体会・現地調査  
26日 決算(特)分科会(民生文教)  
27日 決算(特)分科会(産業建設)  
28日 決算(特)分科会(企画総務)  
30日 決算(特)幹事会
- 10月 3日 決算(特)全体会(総括質疑)  
決算(特)全体会(討論・採決)  
議会運営委員会  
5日 本会議(討論・採決)  
全員協議会  
民生文教委員会  
産業建設委員会  
議会運営委員会  
議会活性化検討会  
12日 議会だより編集委員会

※(特)特別委員会

編 集 後 記